

## ご挨拶



2012年がスタートし早や半年を過ぎようとしています。昨年、日本では東日本大震災による多くの被災地、被災者の皆様への打撃、福島原発事故による安全神話への不信、中国などの台頭によるパワーバランスの変化、南欧諸国の不安定な政治経済情勢など、様々な出来事を通して多くの問題が顕在化しました。今年に入ってから、フランスとギリシャの政治情勢の変化や北朝鮮をはじめとする新興国への核拡散など、不安定な世界情勢を反映して経済見通しも困難な時期が続いています。21世紀に入って10年を過ぎ、新しい秩序への変化があらゆる面で起きているようにも感じられます。しかしながら一方で、「混迷する日本政治」という根本的な問題を抱えながらも、多くの日本企業が戦略的な新たな行動をとりつつあり、また、昨年来の想像を超えた災害からの復興の過程で時代に合った規制緩和へ僅かながら進んでいると思われ、将来への明るい兆しも感じます。こうした行動が今後の発展と安定に必ず繋がるものと確信し、当社も積極的に事業環境の変化に対応して、バルカーらしさを追求して参ります。

当社では、この4月から新しい中期経営計画“NV・S6”をスタートいたしました。中国をはじめとする海外市場における成長機会への挑戦、環境ビジネス拡大に向けた環境関連事業部の設置など、新たな飛躍へ向けて積極的に事業基盤の拡張を図っております。研究開発においても、日本だけでなく中国総合研究所においても中国の大学との共同研究を含め環境関連開発を加速しつつあります。この夏号では、地震災害などの際も機器・配管接合面での高度なシール性を保持するための研究などの技術論文に加え、新たなふっ素樹脂系メンブレン素材としてPTFEナノファイバー不織布などの製品をご紹介します。本誌でのご紹介が、当社をご理解いただく一助となれば幸いです。今後とも当社の理念である“The Valqua Way”に基づき、差別的で独自性の高い技術の追求を通じて、当社ならではの製品とサービスを提供し社会に貢献して参る所存です。読者の皆様にはなお一層のお引き立てを賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、読者の皆様のご発展を祈念いたします。

常務執行役員 CTO (最高技術責任者) 黒田 博之